

礫の諸性質の測定 は採取した試料のときと違って測定点1点ごとに そのとき観察しようと思った項目全部を計測し区別してゆく方法で進めます。第5図は基本になる諸項目を総合的に観察する場合に適当な観察コースです。観察した事項は1点ごとに記録していきます。第6図は基本の項目を含んだ記録紙の1例です。2人で組んで1人がノートをとる役をしないと作業がたいへんスムーズに運べます。

面方式の測定の場合には崖面に紐・巻尺を張るかマジックで線を引いて幅数10cmごとに区画して下から上へ観察してゆくと都合よく測定ができます。

ところが面方式を使って4種目の計測を合わせてやるにはうまく二重帳簿をつくってゆかねばならないという困った問題もあります。それは礫の真の粒径と礫が崖面で占める面積との関連の問題です。一方では設定した測定面そのものと交わる所の礫の断面積をとらえてその面積に等しい面積をもつ円の直径を記帳して量比を求める基礎にしなければならないしもう一方では礫が崖から突き出ているので推定できるその礫の本

当の粒径も記入しておきたいのです。

1枚の記録紙に2重の記載をすることを考えてみましょう。第6図の記録紙を例にとれば測定断面そのままの粒径のを正の字を書いて記入しそのうち真の礫径がそれより1階級大きいものに当たった場合その線上に●印1個2階級大きいものには●印2個というようにマークを入れて二重帳簿の代用しておきます。こうしておくで個数を集計するときに調整して本当の礫径とほかの性質との関係を導く資料をつくるのに役立ちます。なお礫のカウントの正の字は数えやすく正しい測定のシンボルです。ごまかしをしなければ棒や丸印を並べてゆくだけでもさしつかえないのです。

次の機会には礫岩・礫層の粒度形状・円磨度・岩質組成の実験的な測定法と測定結果のまとめ方について述べさせて頂きましょう。

(筆者は地質部)

文 献

- 菊地隆男(1965): 段丘地形のしらべ方 地質ニュース No. 136 p.19—27
 小峯 勇(1959): 河川堆積物 三野与吉編 自然地理学研究法 p.201—207
 町田 貞(1963): 河岸段丘 244p 古今書院



南房総国定公園

千葉県南端の臨海公園で西海岸にあたる東京湾口の富津岬から太平洋に突出する東海岸の太東岬までの約190kmにわたる海岸線地域 面積56.6km²が昭和33年8月1日に国定公園の指定を受けました。

この地区には富津岬 鹿野山 鋸山 船形観音 洲崎 野島崎 清澄寺 誕生寺 たいの浦 勝浦などの景勝地があり 四季を通じて手軽に利用できるレクリエーションの地です。

洲崎から野島崎を経て千倉に至る半島の最南端では年の暮に菜の花が咲くという常春の地で年間を通じて気温の差が少なくカラタチバナ ヒメユズリハなどの南方植物や イヌブナ ソテツなどの温帯植物がいりまじって茂り自然植物園を形成しています。地学的には第三紀凝灰岩その他の若い地層の教室で造礁サンゴ化石も見られます。海岸はいわゆる白砂青松の砂浜でいたるところで海水浴ができ白浜 勝浦 御宿は海女で有名でむかしから房州海女として知られています。

地 学 と 切 手

堀内恵彦

御宿町には慶長14年(1609年)フィリピン総督ドン・ロドリゴの乗船が難破この地に上陸しわが国の船で送還されたのを記念した「日本・イスパニア・メキシコ交通発祥記念碑」があります。

太東岬の南海岸はハマボス・カモ・ハシ・ハマゴウなどの珍しい海岸植物の群生地です。

切手の画面は最南端の野島崎を中心とする白浜海岸で海水に侵食された海岸段丘とそれにつづく岩礁の雄大な風景です。

むかし源頼朝は石橋山の敗戦後野島崎に漂着したといわれ灯台近くの弁天堂にある腰掛松は頼朝が腰を掛けたと伝えられています。また画面中にある野崎岬灯台は慶応2年(1866年)に米英仏蘭の4か国との条約により建てられた8灯台の1つで仏人ウエルニーの設計で明治2年(1869)1月14日に点灯され光達距離は33kmに及びます。

この地は背後に東京を中心とした大都市を持ち交通も房総線を用いあるいは船を用いて簡単に往来ができます。このため近年はシーズンには多くの人々に利用されるようになりましたが一方では自然の景観が年とともに俗化しているともいわれます。利用する人々は十分にそれらのことに留意することが必要でしょう。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)